

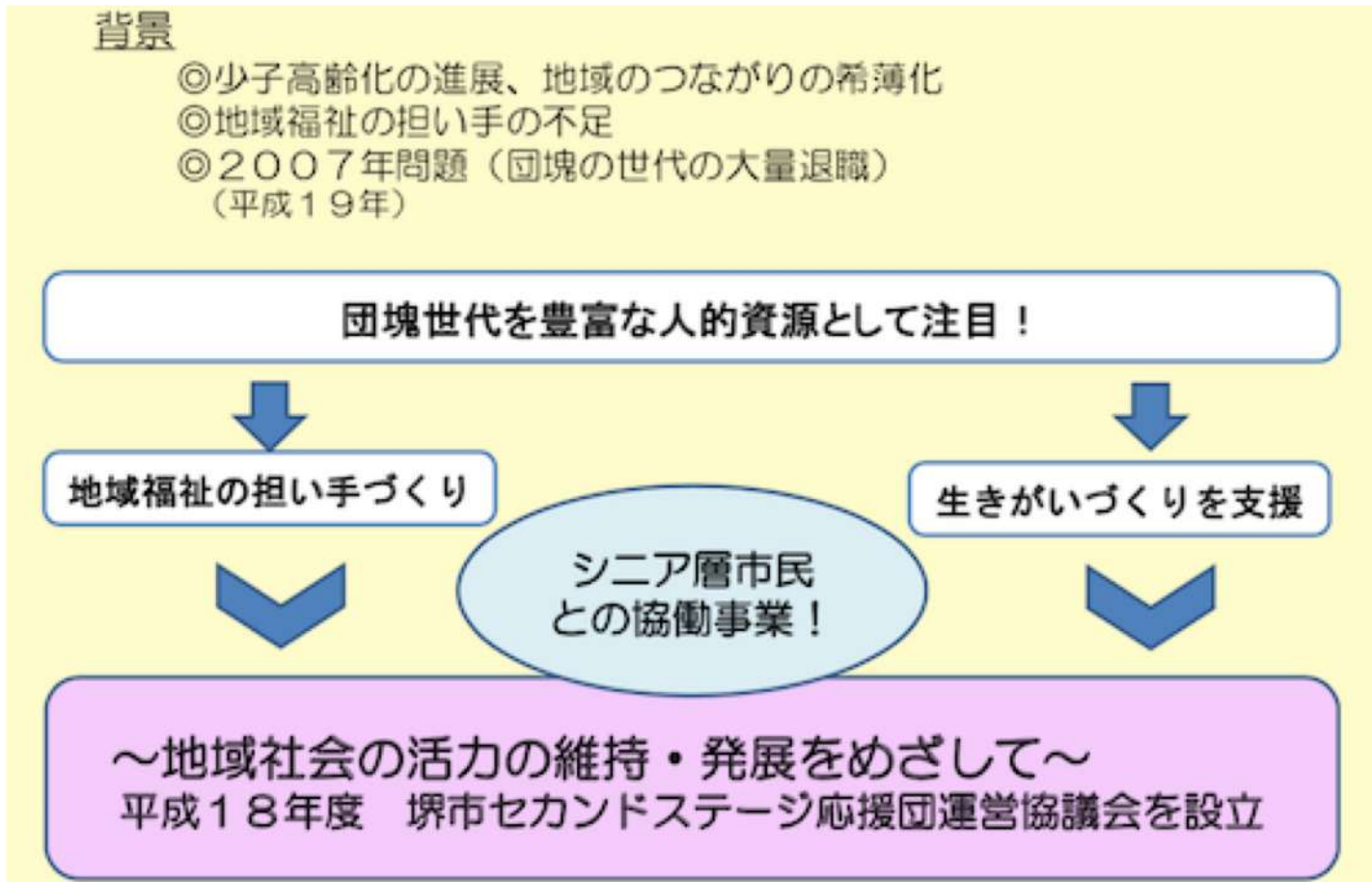
子どもから高齢者まで多世代の交流を生む地域づくりの取組とは？

SS応援団協議会 事務局WG

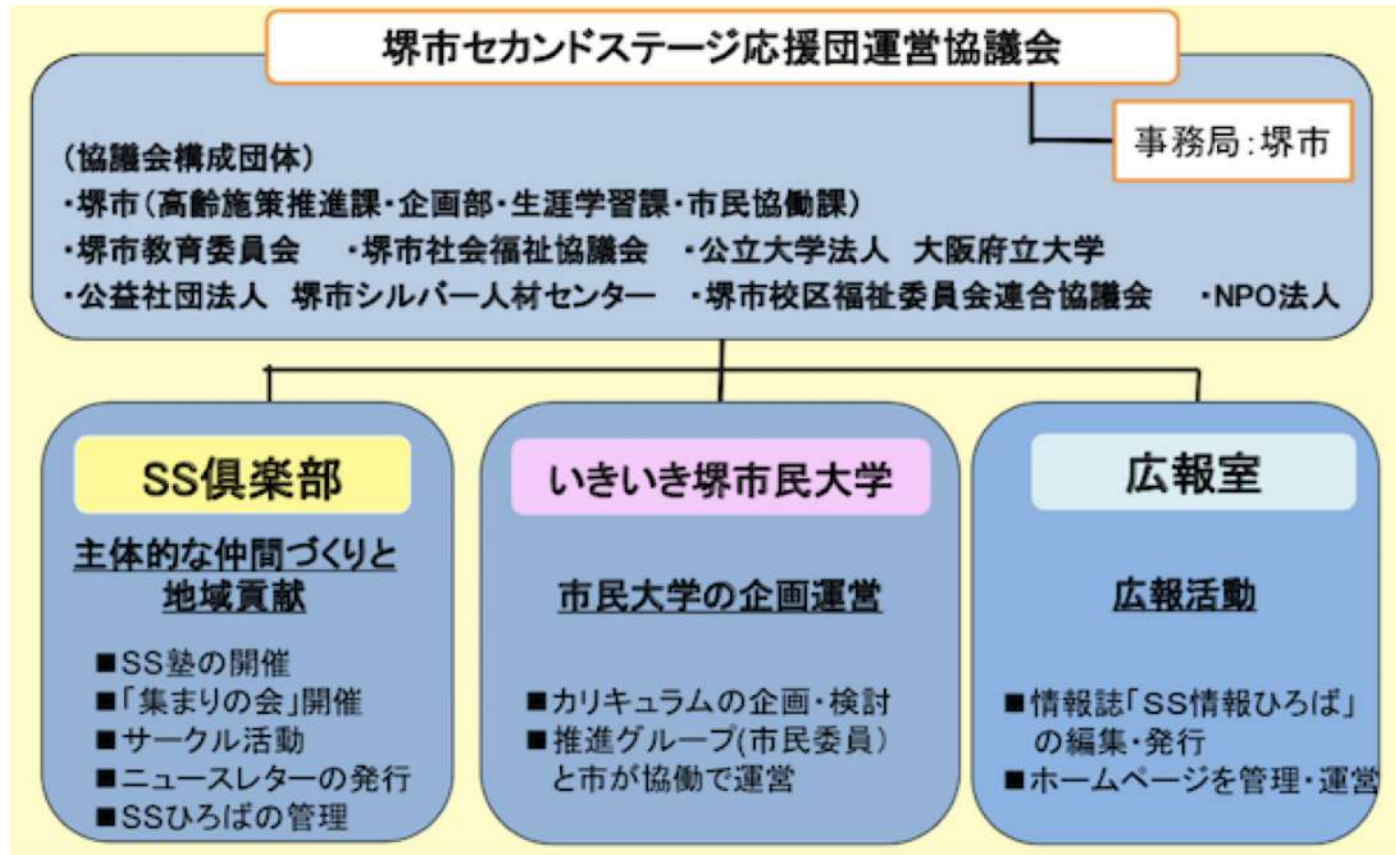


団体の活動目的

セカンドステージを迎えたシニア層の地域社会における諸活動への参加促進を通じて、自身の健康、生きがい作りを計り、地域社会の発展と介護予防を促進することを目的に活動してきました。



これまでの主な取組について



- ・ 「いきいき堺市民大学」の企画運営（平成31年度まで9期実施）
- ・ 「SS 情報ひろば」を発行、シニア層への情報提供を実施。
- ・ 大学修了生の同窓会組織「SS 倶楽部」で親睦交流を実施。

これまでの主な取組について



これまでの主な取組について

主な実績として、

「いきいき堺市民大学」の、9年間の述べ受講生数は**747人**。

大学修了後に所属できる「SS倶楽部」には**254名**が参加。

把握しているだけで**15のサークル活動**が生まれ、多数の地域活動・市民活動が生まれています。

大阪ええまちプロジェクトでの支援

■ 課題・悩み

- ・市からの補助金を主な財源として運営してきたが、補助金そのものがなくなり、これまで使っていた会場も新たに検討の必要が出てきた。
- ・多世代での学び合いも視野に入れ、高齢者や子育て世代など、多様な方がそれぞれの興味関心を学び、活動につなげていくための新たな「市民大学」の展開を検討したい。

■ 解決に向けて

新たにリニューアルする「いきいき堺市民大学」に向けて、協働パートナーへ協賛・協力を呼びかける資料作成を行う。



1. さかいセカンドステージ応援団運営協議会（令和2年4月発足） 構成団体等の変更

《大学》大阪府立大学・関西大学

《NPO・一社》ASUの会・SEIN・堺観光ボランティア協会・ウェルネスパーク堺

《社会福祉法人》堺市社会福祉協議会

《市民団体》SS倶楽部

《有識者》小野達也（桃山学院大学教授）

2. 取組み

働き盛りの世代、子育て・介護を終えた世代、シニア世代、障がいのある人等
**多様なステージで生活している人たちが目指す次のステージを、
「セカンドステージ」と捉え、
新たな学びや生き方のヒント、気づきの場を提供する市民大学**

カリキュラムは3つのテーマ

「健康」「福祉」「歴史」

市民大学修了後、それぞれが生きがいを持って輝き、
充実したセカンドステージを過ごすとともに、
「まちづくり」を主体的に取り組んでいくことを応援していく。